

香取市
学校等適正配置に関するアンケート
調査結果報告書

令和6年2月
香取市教育委員会

はじめに

(アンケート結果の概要)

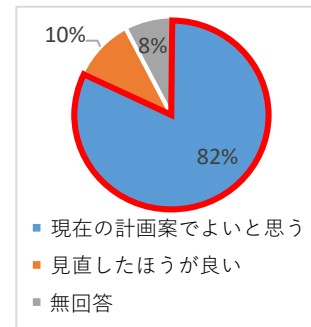
学校等適正配置に関するアンケートに御協力いただきありがとうございました。
多数のご回答をいただき、本アンケートの回答率は約76%となっています。

はじめに、アンケート結果の概要として、「今後の再編計画案についてどのように思われますか」、「保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況」について説明します。

まず、「今後の再編計画案についてどのように思われますか」では、香取市学校等適正配置計画実施プラン第二次改訂版に示す再編計画案についてどのように思うか回答いただきました。

集計の結果、「**現在の計画案の通りでよいと思う**」と回答した保護者の割合が**82%となりました。**

(詳細はP9 質問⑩「今後の再編計画案についてどのように思われますか」)

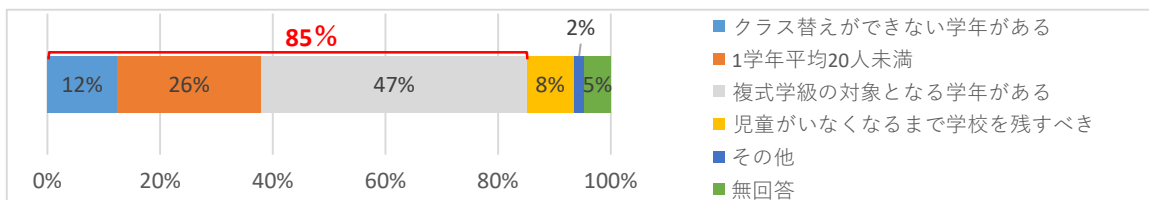


次に、「保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況」では、小学校・中学校それぞれについて、学校統合が避けて通れないと考える状況を回答いただきました。

集計の結果、小学校については、「複式学級*の対象となる学年がある」という回答が47%となりました。(*複式学級：連続する2学年の合計人数が基準以下となり、1人の先生が2つの学年を担当する学級)

この複式学級となる場合、人数も20人未満となりますし、クラス替えもできませんので、「1学年平均20人未満」と回答した26%の保護者と「クラスができない学年がある」と回答した12%の保護者を合わせた、**85%の保護者が「複式学級の対象となる学年がある学校」の統合が避けて通れないと考えている**と分析できます。

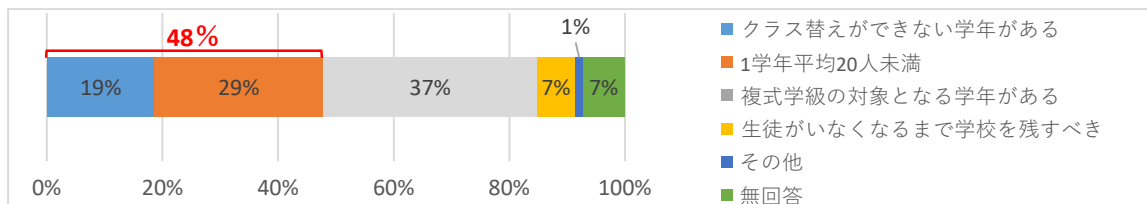
(詳細はP7 質問⑧「保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況」)



中学校については、「複式学級の対象となる学年がある」という回答が最も多くなっていますが、小学校の回答と比較するとその割合は低くなっています。

それに対して、「1学年平均20人未満」「クラス替えができない学年がある」と回答した割合が高くなっています。「1学年平均20人未満」の場合、クラス替えもできませんので、「1学年平均20人未満」と回答した29%の保護者と「クラス替えができない学年がある」と回答した19%の保護者を合わせた**48%**が統合が避けて通れないと考えていることがわかります。このため、「複式学級の対象となる学年がある」状況にならなくても、**約半数の保護者が「1学年平均20人未満となる学校」の統合が避けて通れないと考えている**と分析できます。

(詳細はP7 質問⑧「保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況」)



「保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況」から、小学校の複式学級の解消、中学校の小規模化(1学年平均20人未満)の解消が望まれていると考えられます。

この2つの設問をはじめ、このアンケートの結果から、再編計画案が多くの保護者の理解を得ていると考えられるため、今後も市民協働で学校再編に取り組んでまいります。

目次

1.アンケートの実施方法	
・ 調査目的	P 1
・ 実施期間	P 1
・ 調査対象者	P 1
・ 実施方法について	P 1
・ アンケートの回答数（回答率）	P 1
2.アンケート集計結果（回答者の属性）	
①お子様の年齢・学年	P 2
②お住いの地区（学区）	P 2
③お住いの地区の学校以外への通学	P 3
④小学生のお子様の通学方法・通学時間	P 4
⑤中学生のお子様の通学方法・通学時間	P 4
3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）	
⑥保護者が教育環境を考える際、重視すること	P 5
⑦保護者が考える教育環境を維持するために必要な小学校・中学校の規模	P 6
・ 1クラス当たりの人数	
・ 1学年当たりの学級数（クラス数）	
⑧保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況	P 7
⑨保護者が考える小学生が通学可能な範囲	P 8
⑩保護者が考える中学生が通学可能な範囲	P 8
⑪今後の再編計画案についてどのように思われますか	P 9
4.アンケート集計結果（学校等適正配置に関するご意見等）	P11
5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）	
・ 北佐原小学校	P12
・ 竟成小学校	P13
・ 香取中学校	P14
・ 新島中学校	P15
・ 佐原小学校	P16
・ 佐原中学校	P16
・ 香取小学校	P17
・ 小見川東小学校	P18
6.アンケート全体に関する分析	P19
7.参考資料	
学校等適正配置に関するアンケート用紙	P20

【1.アンケートの実施方法】

○ 調査目的

令和4年度に策定した香取市学校等適正配置計画実施プランの第二次改定版の概要や児童生徒数の推移について、中学生以下の子の保護者に周知を行うこと。

また、今後の学校の適正配置を進めるにあたり、学校再編等に対する保護者の考え方や意見を徴し、各学区における保護者の学校規模等に対する価値観を数値化、分析し、その結果を保護者と共有、また今後の学校再編の推進に役立てるために実施する。

○ 実施期間

令和5年9月13日（水）から令和5年9月27日（水）

○ 調査対象者（令和5年4月1日時点において0～14歳の子の保護者）

- (i)市内中学校に通学する生徒の保護者
- (ii)市内小学校に通学する児童の保護者
- (iii)市内保育園・保育所・こども園に通園する園児の保護者
- (iv)上記以外の市内在住、6歳未満の子の保護者（私立幼稚園含む）

○ 実施方法について

●対象者(i)から(iii)について

アンケート依頼	学校等を通じて配布 (学校等にて可能な場合、施設内の兄弟姉妹に重複しないよう配布)
回答方法	下記のいずれかの方法で回答 ・アンケート用紙を記入し、学校等へ提出 ・ホームページから回答

●対象者(iv)について

アンケート依頼	対象世帯に郵送
回答方法	下記のいずれかの方法で回答 ・アンケート用紙を記入し、返信用封筒にて郵送 ・ホームページから回答

※重複対応

兄弟がいる保護者の場合、複数枚アンケートが配布される可能性があります。

複数枚配布された場合、1枚の用紙(ホームページの場合1回の回答)に意見をまとめ、

使用しない用紙は、「他の兄弟姉妹の用紙で回答済み」に✓を記載し返却するよう案内しています。

○ アンケートの回答数（回答率）

対象者	配布数	返却数 (兄弟の用紙使用)	回答予定数 (配布数-返却数)	回答数	未回答*	回答率 (回答数÷回答予定数)
全体	5,115	875	4,240	3,201	1,039	75.5%
(i)生徒保護者	1,461	238	1,223	993	230	81.2%
(ii)児童保護者	2,229	436	1,793	1,395	398	77.8%
(iii)園児保護者	1,182	200	982	702	280	71.5%
(iv)上記以外	243	1	242	111	131	45.9%

* 返却されていない用紙(兄弟の用紙を使用したため回答不要の用紙)の枚数を含みます

【2. アンケート集計結果（回答者の属性）】

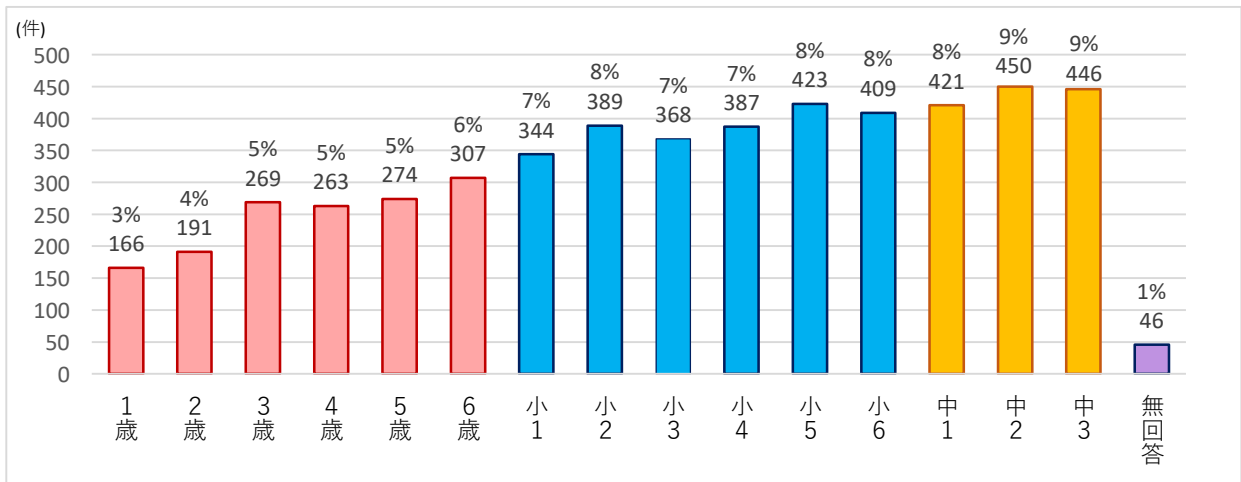
質問①～⑤は、アンケートの分析に活用するために、回答した方がどのような人か（何年生の保護者か、どの学区に住んでいるか等）を把握するための項目となっています。そのため、実際の数等とは数が異なります*。

*1歳の双子の保護者は、質問①「お子様の年齢・学年」では「1歳の子の保護者」として1件、佐原小学学区に住む兄弟の保護者は、質問②「お住いの地区」では「佐原小学学区にすむ保護者」として1件の回答となるため、回答数と実際の児童生徒数等は異なります。

質問① お子様の年齢・学年（兄弟姉妹がいる場合、複数選択）

「何歳の子の保護者からの回答か」を把握するため、お子様が、「何歳」または「何年生」か回答いただきました。（年齢は、令和5年度末時点の年齢で回答）

下のグラフは、各選択肢の回答数を表したのになります。



質問② お住いの地区（学区）

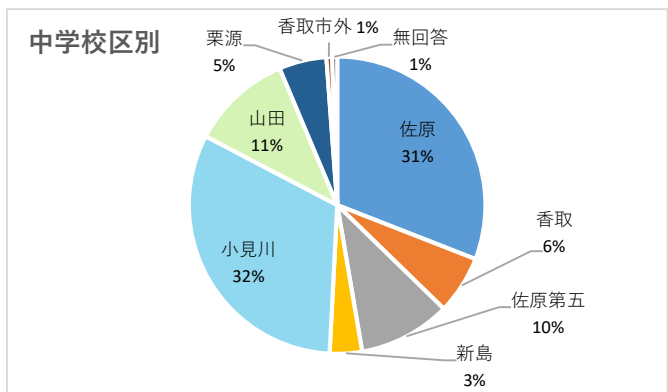
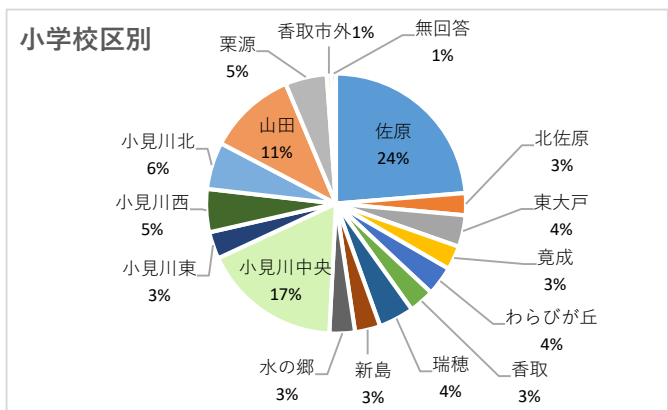
「どの小学校区・中学校区に住む人からの回答か」を把握するため、お住いの小学校区等を回答いただきました。

小学校区別

小学校区	回答数
佐原	758
北佐原	88
東大戸	126
竟成	96
わらびが丘	115
香取	101
瑞穂	141
新島	100
水の郷	102
小見川中央	553
小見川東	108
小見川西	171
小見川北	188
山田	351
栗源	166
香取市外	19
無回答	18

中学校区別

中学校区	回答数
佐原	990
香取	203
佐原第五	321
新島	113
小見川	1,020
山田	351
栗源	166
香取市外	19
無回答	18



【2. アンケート集計結果（回答者の属性）】

質問③ お住いの地区の学校以外への通学

お子様がお住いの学区以外の学校へ通学している保護者に「子の通学先」を回答いただきました。

下の表は、回答いただいた方の「子の通学先(どの学校へ通学しているか)」、「お住いの地区*1(どこから通学しているか)」をそれぞれ集計した表になります。

(例)佐原小学校へ香取市外から通学する子の保護者：(子の通学先)佐原小学校 (お住いの地区)香取市外

*1 質問③に回答いただいた方の「質問②お住いの地区（学区）」(P2)の回答を集計

【小学校】

どの学校へ通学しているか どこから通学しているか

子の通学先	回答数	お住いの地区	回答数
佐原	44	佐原	5
北佐原	5	北佐原	6
東大戸	4	東大戸	11
竟成	2	竟成	13
わらびが丘	6	わらびが丘	3
香取	3	香取	23
瑞穂	5	瑞穂	6
新島	4	新島	1
水の郷	2	水の郷	8
小見川中央	35	小見川中央	11
小見川東	3	小見川東	15
小見川西	4	小見川西	3
小見川北	3	小見川北	17
山田	4	山田	5
栗源	4	栗源	1
香取市外	4	香取市外	3
		無回答	1

【中学校】

どの学校へ通学しているか どこから通学しているか

通学先	回答数	お住いの地区	回答数
佐原	46	佐原	10
香取	2	香取	26
佐原第五	2	佐原第五	8
新島	3	新島	10
小見川	6	小見川	3
山田	1	山田	3
栗源	2	栗源	0
香取市外	5	香取市外	6
		無回答	1

(注意)お住いの地区の学校以外への通学（指定学校変更）は、特別な事由*2があるご家庭の保護者が申請し、教育委員会で協議の上、その事由が妥当であれば通学する学校の変更が認められる制度となります。

*2 特別な事由の例

- ・両親が共働きなどのため、他の親族の家からその家の学区の学校へ通学
- ・転居の予定があり、転居までの間、現住所から転居先の学校へ通学
- ・心身等に疾患があり、通学に支障があると認められるとき 等

【2.アンケート集計結果（回答者の属性）】

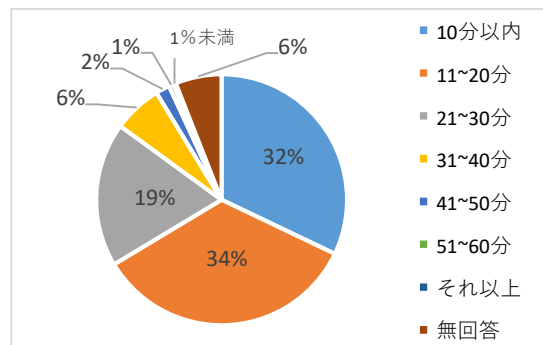
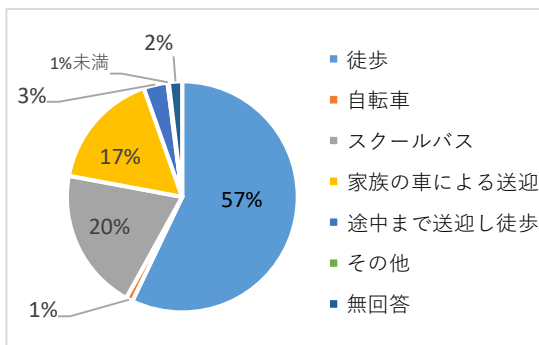
質問④ 小学生のお子様の通学方法・通学時間（回答対象：小学生の保護者）

小学生の保護者からお子様(小学生)の通学方法・通学時間についてそれぞれ回答いただきました。

通学方法	回答数
徒歩	1,130
自転車	18
スクールバス	393
家族の送迎	329
途中まで送迎し徒歩	66
その他*1	4
無回答	37

通学時間	回答数
10分以内	634
11~20分	679
21~30分	368
31~40分	124
41~50分	36
51~60分	12
それ以上	6
無回答	118

*1 その他：自転車と送迎両方選択(3件)、市営バス(1件)



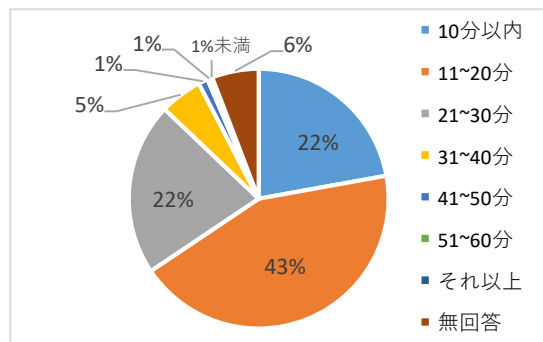
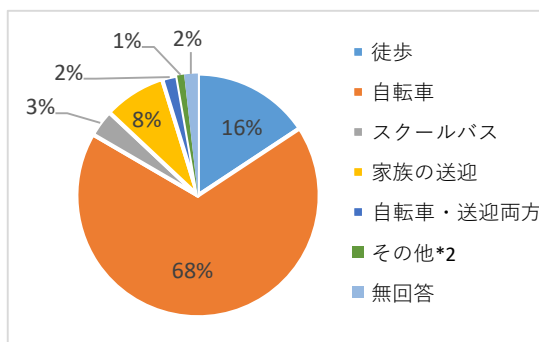
質問⑤ 中学生のお子様の通学方法・通学時間（回答対象：中学生の保護者）

中学生の保護者からお子様(中学生)の通学方法・通学時間についてそれぞれ回答いただきました。

通学方法	回答数
徒歩	224
自転車	966
スクールバス	51
家族の送迎	118
自転車・送迎両方	29
その他*2	13
無回答	26

通学時間	回答数
10分以内	316
11~20分	620
21~30分	307
31~40分	75
41~50分	17
51~60分	7
それ以上	2
無回答	83

*2 その他：電車(5件)、途中まで送迎(4件)、徒歩・自転車両方選択(3件)、市営バス(1件)



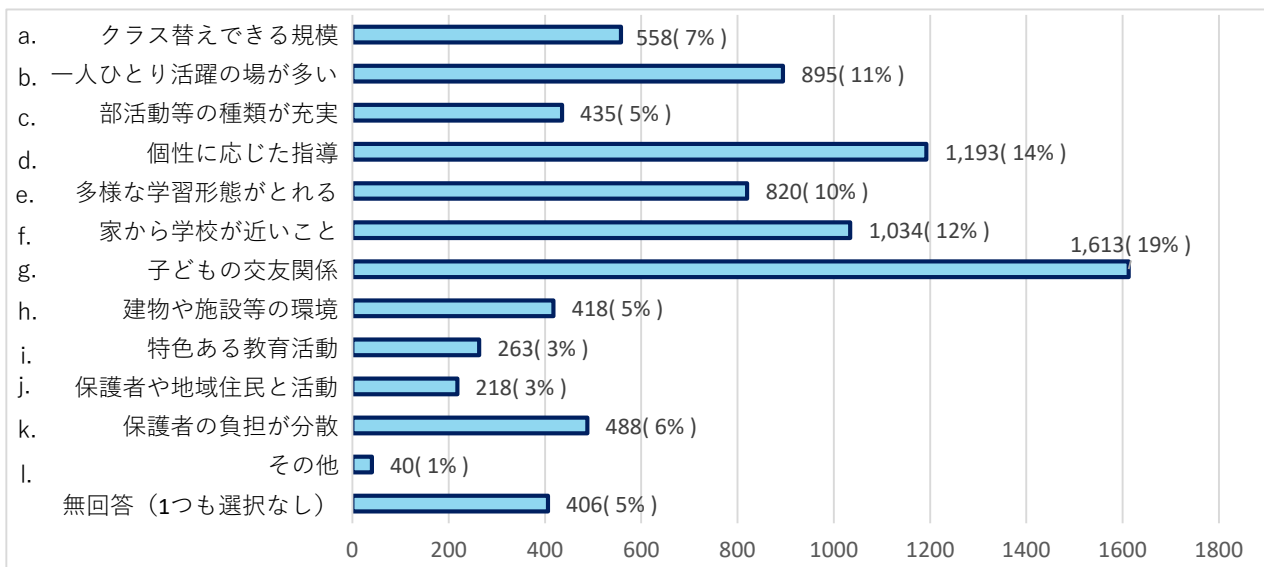
【3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）】

質問⑥ 保護者が教育環境を考える際、重視すること

保護者が「教育環境について考える際、重視すること」について、小学校・中学校それぞれ3つまで選択いただきました*。

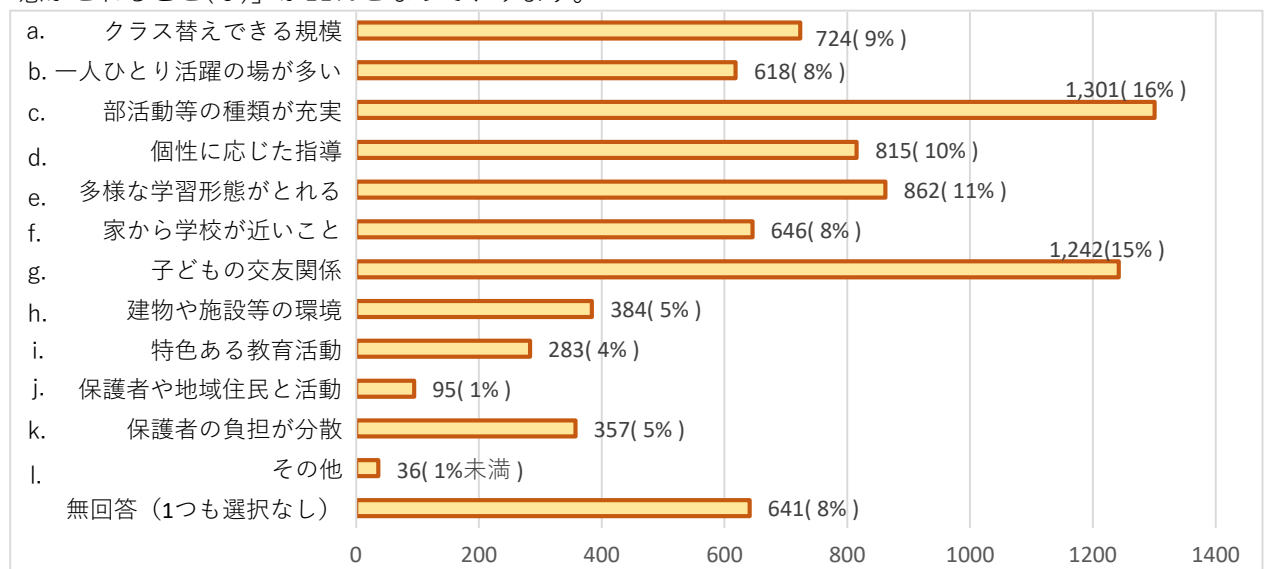
【 小 学 校 】

保護者が小学校の教育環境を考える際、重視することとして、「子どもの交友関係(g)」が19%で最も多く、続いて「教員による一人ひとりの個性に応じた指導が受けられること(d)」が14%、「家から学校が近いこと(通学時間が短いこと)(f)」が12%となっております。



【 中 学 校 】

中学校については、「部活動等の種類が充実しており、選択の幅があること(c)」が16%で最も多く、続いて「子どもの交友関係(g)」が15%、「習熟度別学習や少人数指導、グループ学習等、多様な学習形態がとれること(e)」が11%となっております。



* 小学校と中学校で選択する個数が異なる方もいるため、小学校と中学校の合計は異なります。(小学校は3つ、中学校は1つ選択等)

また、この質問の回答は、小学校中学校それぞれ3つまでの選択となっておりますが、その上限を超えて4つ以上選択した方については、集計に計上される数値が合計3になるよう、選択した項目に対し「3÷選択数」の数値を計上しています。

(例)小学校に「a,b,c,d,e,f」の6つを選択 中学校に「a,b,c」の3つを選択

小学校: $3 \div 6$ (選択数)=0.5 「a,b,c,d,e,f各0.5件」計上

中学校: 按分なし 「a,b,c各1件」計上

【3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）】

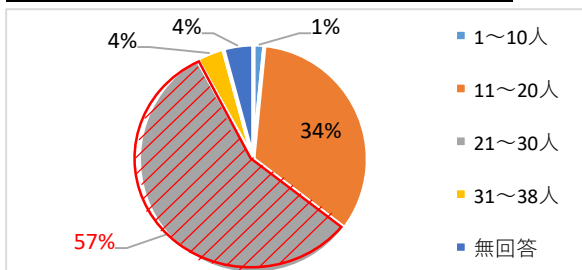
質問⑦ 保護者が考える教育環境を維持するために必要な小学校・中学校の規模

保護者が考える「教育環境を維持するために必要な規模（児童生徒数）」として、「1クラス当たりの人数」と「1学年当たりの学級数」を小学校・中学校それぞれ回答いただきました。

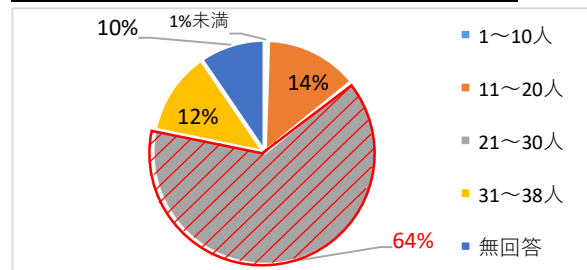
※複数選択されている回答は、人数が少ない選択肢、学級数が少ない選択肢で集計しています

1クラス当たりの人数

小学校	
選択肢	回答数
1～10人	50
11～20人	1,080
21～30人	1,811
31～38人	124
無回答	136

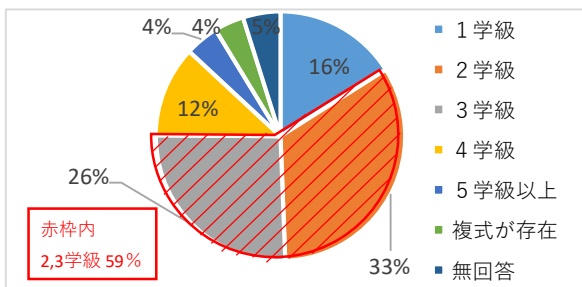


中学校	
選択肢	回答数
1～10人	15
11～20人	438
21～30人	2,052
31～38人	390
無回答	306

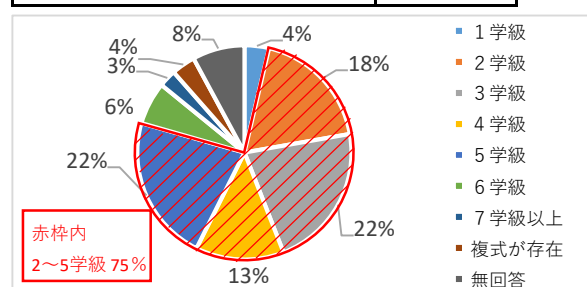


1学年の当たり学級数(クラス数)

小学校	
選択肢	回答数
1学級	513
2学級	1,068
3学級	824
4学級	377
5学級以上	140
複式学級が存在しても良い	123
無回答	156



中学校	
選択肢	回答数
1学級	118
2学級	593
3学級	700
4学級	426
5学級	705
6学級	207
7学級以上	85
複式学級が存在しても良い	114
無回答	253



保護者が考える教育環境を維持するために必要な規模として、1クラス当たりの人数は、小学校、中学校どちらにおいても「21～30人」の割合が多くなっています。

また、1学年当たりの学級数は、小学校は「2,3学級」の選択が多く、中学校では「2～5学級」の選択が多くなっています。

【3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）】

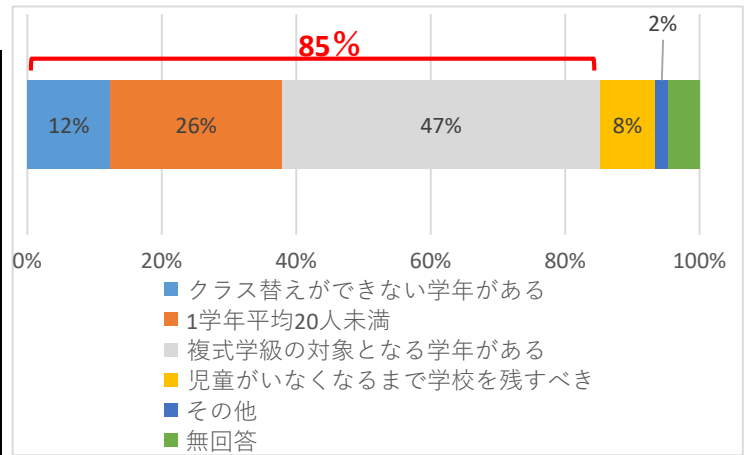
質問⑧ 保護者が学校統合が避けて通れないと考える状況

児童生徒数がどのような状況になったら「学校統合が避けて通れない」と考えるかを小学校・中学校それぞれについて保護者より回答いただきました。

※複数選択されている回答は、より大きい規模の選択肢で集計しています。

（複数選択時の集計の優先順位：「クラス替えできない」＞「1学年平均20人未満」＞「複式学級」＞「学校を残すべき」）

【小学校】	
選択肢	回答数
クラス替えができない学年がある (1学年1学級の学年がある)	395
1学年平均20人未満 (全児童数が120人未満)	820
複式学級の対象となる学年がある	1,512
児童がいなくなるまで 学校を残すべき	264
その他	62
無回答	148

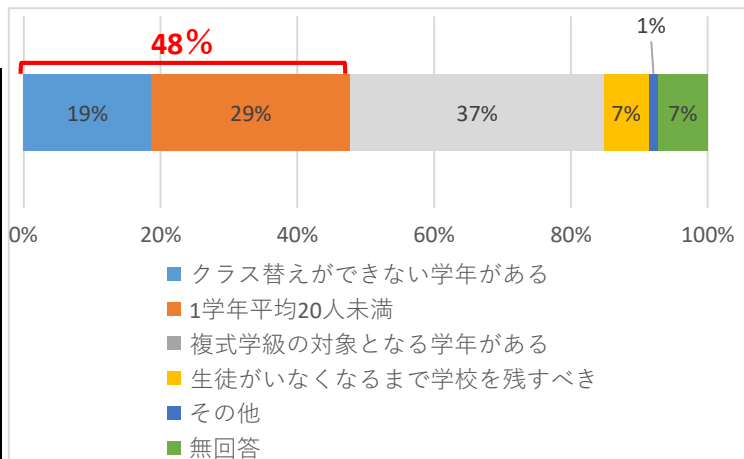


小学校では、「複式学級*の対象となる学年がある」という回答が47%となりました。

複式学級となる場合、人数も20人未満となり、クラス替えもできないため、「1学年平均20人未満」と回答した26%の保護者と「クラス替えができない学年がある」と回答した12%の保護者を合わせた、**85%の保護者は「複式学級の対象となる学年」がある学校の統合は避けられないと考えていることがわかります。**

* 複式学級：連続する2学年の合計人数が基準以下となり、1人の先生が2つの学年を担当する学級

【中学校】	
選択肢	回答数
クラス替えができない学年がある (1学年1学級の学年がある)	596
1学年平均20人未満 (全生徒数が60人未満)	934
複式学級の対象となる学年がある	1,186
生徒がいなくなるまで 学校を残すべき	210
その他	43
無回答	232



中学校では、「複式学級の対象となる学年がある」という回答が37%と最も多くなっていますが、小学校の回答と比較するとその割合は低くなっています。

それに対して、「1学年平均20人未満」「クラス替えができない学年がある」と回答した割合が小学校と比較して高くなっています。

「1学年平均20人未満」となる場合、クラス替えもできませんので、「1学年平均20人未満」と回答した29%の保護者と「クラス替えができない学年がある」と回答した19%の保護者を合わせた48%が統合は避けられないと考えていることがわかります。

このため、中学校では、「複式学級の対象となる学年がある状況」に至らなくても、**約半数の保護者が「1学年平均20人未満」となる学校の統合は避けられないと考えていることがわかります。**

【3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）】

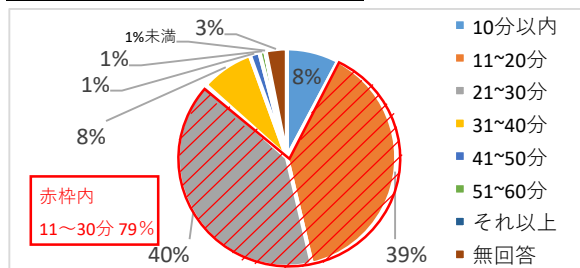
質問⑨ 保護者が考える小学生が通学可能な範囲

保護者が考える「小学生が通学可能な範囲」について、徒歩・スクールバスそれぞれについて回答いただきました。

※複数選択されている回答は、選択されている回答の中で「一番通学範囲の狭い」選択肢で集計しています

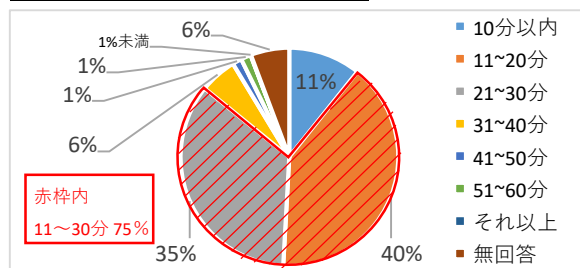
徒歩

選択肢	回答数
10分以内	248
11~20分	1,235
21~30分	1,289
31~40分	251
41~50分	47
51~60分	28
それ以上	1
無回答	102



スクールバス

選択肢	回答数
10分以内	344
11~20分	1,285
21~30分	1,118
31~40分	177
41~50分	44
51~60分	47
それ以上	2
無回答	184



保護者が考える「小学生が通学可能な範囲」は、徒歩・スクールバスどちらにおいても「11~20分」と回答した割合と「21~30分」と回答した割合を合わせると7割以上となっています。

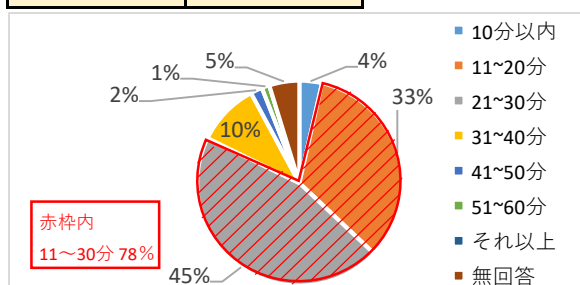
質問⑩ 保護者が考える中学生が通学可能な範囲

保護者が考える「中学生が通学可能な範囲」について、自転車・スクールバスそれぞれについて回答いただきました。

※複数選択されている回答は、選択されている回答の中で「一番通学範囲の狭い」選択肢で集計しています

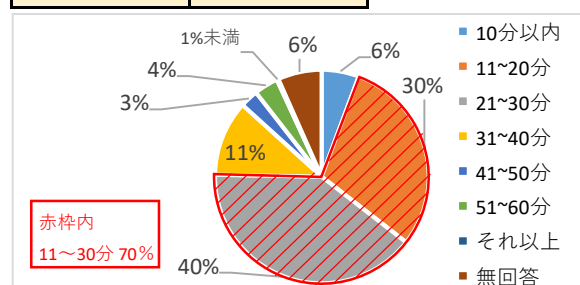
自転車

選択肢	回答数
10分以内	113
11~20分	1,073
21~30分	1,446
31~40分	318
41~50分	59
51~60分	40
それ以上	0
無回答	152



スクールバス

選択肢	回答数
10分以内	181
11~20分	956
21~30分	1,273
31~40分	365
41~50分	88
51~60分	117
それ以上	8
無回答	213



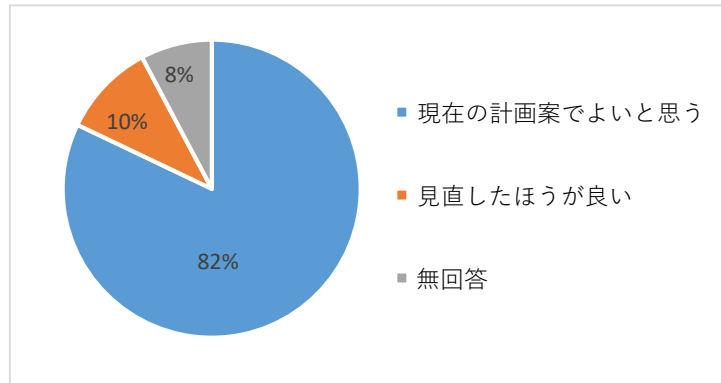
保護者が考える「中学生が通学可能な範囲」は、自転車・スクールバスにどちらにおいても「11~20分」と回答した割合と「21~30分」と回答した割合を合わせると7割以上となっています。

【3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）】

質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

香取市学校等適正配置計画実施プラン第二次改訂版の再編計画案について、「計画案でよいか」、「見直したほうがよいか」保護者から回答いただきました。

選択肢	回答数
現在の計画案でよいと思う	2,627
見直したほうが良い	326
無回答	248



【参考】再編計画案（計画期間：令和4年度から令和13年度まで）

・再編の検討協議を進めていく学校

学校名	再編先の候補
北佐原小学校	佐原小学校
竟成小学校	佐原小学校

学校名	再編先の候補
香取中学校	佐原中学校
新島中学校	佐原中学校

○再編計画案の見直しを求める意見の傾向

「見直したほうが良い」を選択した際、具体的な内容を記載する欄がありましたが、記載がないものや自由意見に記載のあるものがありましたので、質問⑪の記載欄及び自由意見欄から、再編計画案の見直しを求める意見の傾向を集計しました。

再編計画案の見直しを求める意見の傾向	回答数
再編先について	156
統合時期を早めるべき	138
統合はしないほうがよい	122
統合の時期を遅らせる(慎重に行うべき)	14

なお、1つの意見に複数の内容が含まれているときには、それぞれの内容に1件で計上しています。

(例)○○小ではなく××小に早く統合してほしい → 「再編先について」・「計画期間よりも早く行うべき」

再編計画案について、保護者の82%が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

また、再編計画案の見直しを求める意見の傾向は、「再編先について」、「統合時期を早めるべき」「統合はしないほうがよい」という意見が同程度の件数ありました。

【3.アンケート集計結果（適正配置に関する設問）】

質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案についてどのように思われますか」についてお住いの地区（学区）別に割合を集計しました。

地区別の割合（小学区）

選択肢	佐原	北佐原	東大戸	竟成	わらびが丘	香取	瑞穂	新島
現在の計画案でよいと思う	660(87%)	72(82%)	103(82%)	76(79%)	92(80%)	63(62%)	120(85%)	69(69%)
見直したほうが良い	41(5%)	8(9%)	16(13%)	13(14%)	11(10%)	28(28%)	12(9%)	24(24%)
無回答	57(8%)	8(9%)	7(5%)	7(7%)	12(10%)	10(10%)	9(6%)	7(7%)

選択肢	水の郷	小見川中央	小見川東	小見川西	小見川北	山田	栗源	香取市外
現在の計画案でよいと思う	75(73%)	491(88%)	67(62%)	144(84%)	154(82%)	284(81%)	132(80%)	15(79%)
見直したほうが良い	17(17%)	31(6%)	31(29%)	11(6%)	20(11%)	40(11%)	22(13%)	1(5%)
無回答	10(10%)	31(6%)	10(9%)	16(10%)	14(7%)	27(8%)	12(7%)	3(16%)

地区別の割合（中学区）

選択肢	佐原	香取	佐原第五	新島	小見川	山田	栗源	香取市外
現在の計画案でよいと思う	849(86%)	138(68%)	264(82%)	79(70%)	856(84%)	284(81%)	132(80%)	15(79%)
見直したほうが良い	62(6%)	45(22%)	37(12%)	26(23%)	93(9%)	40(11%)	22(13%)	1(5%)
無回答	79(8%)	20(10%)	20(6%)	8(7%)	71(7%)	27(8%)	12(7%)	3(16%)

質問⑪を学区別に集計した結果、再編計画案について、どの学区においても6割以上の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、どの学区においても再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

【4.アンケート集計結果（学校等適正配置に関するご意見等）】

質問⑩「今後の再編計画案についてどのように思われますか」の記載284件、学校等適正配置に関するご意見(自由意見)617件の意見がありました。

上記の内容について、主な意見とその概要は下記のとおりです。

主な意見 (主な意見の概要)	件数
統合の進め方に関すること (大きい規模で統合するべき・基準以下だが、検討の対象となっていない学校がある等)	216件
子どもの人間関係について (教育上、一定の人数が必要・統合による急激な環境変化が不安・男女比の偏りについて等)	123件
スクールバスについて (統合時に導入するべき・統合に関わらず導入を検討するべき・現在の運行状況について等)	113件
特定の学校の再編先設定・変更等	81件
保護者等の負担について (統合により通学等の負担が多くなる・少人数になることでPTA等の負担が多くなる等)	72件
先生について (配置される人数について・先生の負担を減らすべき等)	59件
施設の整備について (統合に合わせて新設又は改修すべき・佐原小学校の駐車場が狭い・統合の為の新築や改修に反対等)	58件
複式学級について (複式学級は避けるべき・複式学級でも良い・複式学級となる時事前に保護者に知らせるべき)	53件
部活動について (種類、部員が少ない・活動が思うようにできない・部活動の地域移行の進捗について)	46件
市政に関すること* (人口減少対策施策、公園整備等)	33件
少人数を活かした特色のある教育・学習プランの作成・実施	31件
通学路の安全性について* (ガードレールや街灯、防犯灯等の設置)	28件
指定校変更について (簡単にしてほしい・厳しくしてほしい・禁止してほしい)	23件
学校選択制について	22件
その他20件以下の意見 (1クラスあたりの人数について・統合後の心のケアについて・義務教育学校や小中一貫校について等)	161件

* 市政に関すること(人口減少対策施策、公園整備等)や通学路の安全性(ガードレールや街灯、防犯灯等の設置)、児童クラブについて等については、担当部署に記載内容を提供します。

1つの記載に複数の要素を含む場合があるため合計は質問⑩の記載数284件と自由意見617件の合計901件とは一致しません。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

再編計画案で再編の検討協議を進めていく学校として示す4校（北佐原小学校・竟成小学校・香取中学校・新島中学校）及びその統合先の候補として考えられる学校（佐原小学校・佐原中学校）、また、現在、複式学級の対象となる学年が見込まれる学校（香取小学校）、現在0人の学年がある学校（小見川東小学校）について集計を行いました。

【北佐原小学校】再編計画案で示す再編の検討協議を進めていく学校

○児童数及び学区内の6歳以下の人数（赤丸については複式学級の対象となるが見込まれる学年・年齢）

	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	8	11	13	10	13	13	9	12	10	8	6	3
男女	4/4	4/7	9/4	5/5	9/4	8/5	5/4	8/4	4/6	6/2	2/4	0/3

○質問⑧ 学校統合が避けて通れない状況（子の年代別）

北佐原小学校の現在想定される児童数の推移から、学区内に住む保護者がどのように考えるかを集計するため、「保護者の考える学校統合が避けて通れない状況(P7)」を北佐原小学区の保護者に絞り、お子様の年齢を3歳ごとに区分し集計しました。

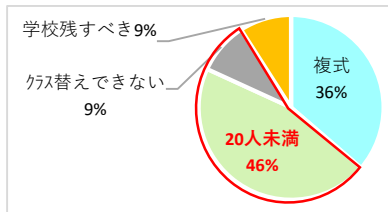
なお、「2人以上お子様があり、その子の年齢の区分が異なる保護者」は、それぞれの年齢の区分で集計しています。

(例1)1歳・小1の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」、及び「小学1~3年生の保護者」としてそれぞれ1件集計

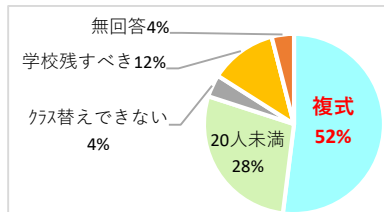
(例2)1歳・3歳の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」として1件集計

また、全体の集計には、学区内に住む中学生の保護者も含むため、各年齢区分別の内訳より割合が高い項目があります。

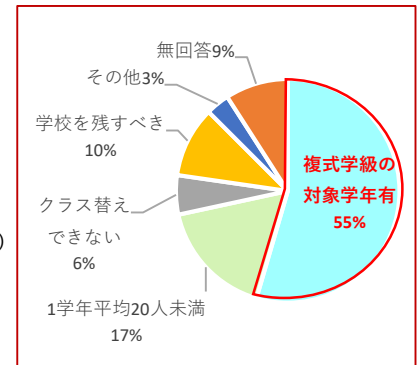
・1~3歳の保護者（北佐原小学区）



・4~6歳の保護者（北佐原小学区）

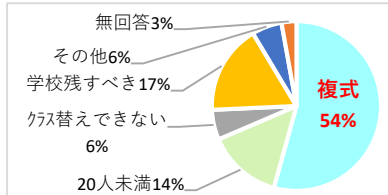


・北佐原小学区 全体(中学生の保護者含む)

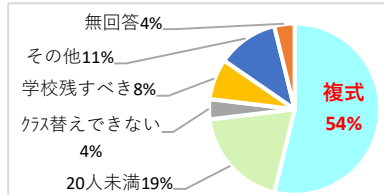


各年齢区分で最も割合が高い区分を赤字にしています

・小学1~3年生の保護者（北佐原小学区）

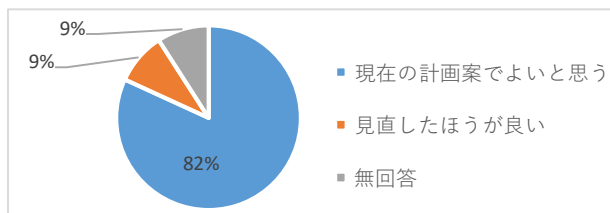


・小学4~6年生の保護者（北佐原小学区）



○質問⑩ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について（P9）」を北佐原小学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合はしないほうがよい	6
統合の時期を早める	2
再編先について	2
統合の時期を遅らせる	1

北佐原小学区の保護者全体が考える学校統合が避けて通れない状況として、「複式学級の対象となる学年がある」と回答した割合が半数を超えています。今後の児童数の推移（現在の1歳と2歳又は2歳と3歳）から複式学級が見込まれるため、このまま児童数が推移する場合、多くの保護者が学校統合が避けて通れないと考えていることがわかります。

また、『1~3歳の保護者』は、「1学年平均20人未満」と回答した割合が高くなっています。「1学年平均20人未満」の学校の場合、「クラス替えができない学年がある学校」にもなるため、「クラス替えができない学年がある」と回答した9%の保護者を合わせた55%の保護者が「1学年平均20人未満」の学校は統合は避けられないと考えていることがわかります。

なお、北佐原小学校は現在「1学年平均20人未満」となっているため、『1~3歳の保護者』は、現在の学校の状況は学校統合が避けて通れないと考える保護者が多いと考えられます。

再編計画案について、北佐原小学区の82%の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

【竟成小学校】再編計画案で示す再編の検討協議を進めていく学校

○児童数及び学区内の6歳以下の人数 （赤丸については複式学級の対象となるが見込まれる学年・年齢）

	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	5	16	7	15	5	11	12	10	14	12	8	11
男女	2:3	7:9	3:4	9:6	5:0	5:6	7:5	5:5	7:7	5:7	4:4	4:7

○質問⑧ 学校統合が避けて通れない状況（子の年代別）

竟成小学校の現在想定される児童数の推移から、学区内に住む保護者がどのように考えるかを集計するため、「保護者の考える学校統合が避けて通れない状況(P7)」を竟成小学区の保護者に絞り、お子様の年齢を3歳ごとに区分し集計しました。

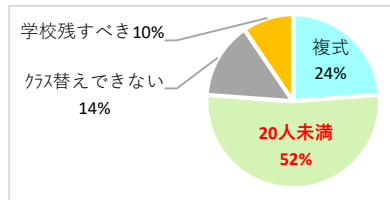
なお、「2人以上お子様があり、その子の年齢の区分が異なる保護者」は、それぞれの年齢の区分で集計しています。

(例1)1歳・小1の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」、及び「小学1~3年生の保護者」としてそれぞれ1件集計

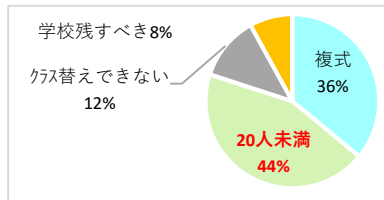
(例2)1歳・3歳の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」として1件集計

また、全体の集計には、学区内に住む中学生の保護者も含むため、各年齢区分別の内訳より割合が高い項目があります。

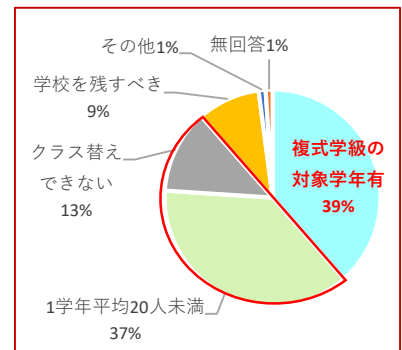
・1~3歳の保護者（竟成小学区）



・4~6歳の保護者（竟成小学区）

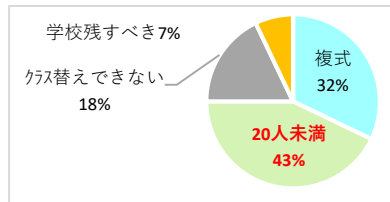


・竟成小学区 全体(中学生の保護者含む)

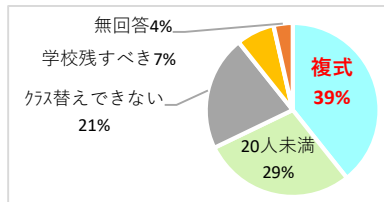


各年齢区分で最も割合が高い区分を赤字にしています

・小学1~3年生の保護者（竟成小学区）

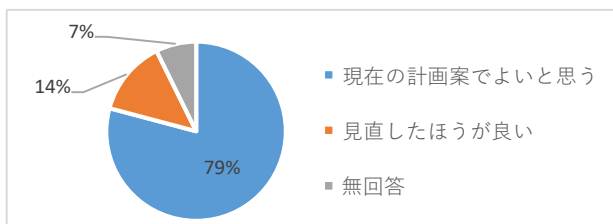


・小学4~6年生の保護者（竟成小学区）



○質問⑩ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について (P9)」を竟成小学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
再編先について	9
統合の時期を早める	7
統合はしないほうがよい	4
統合の時期を遅らせる	0

竟成小学校は、現在、複式学級の対象となる学年がありますが、児童数の推移から、今後はなくなり、「1学年平均20人未満」の状況となります。

竟成小学区の保護者全体が考える学校統合が避けて通れない状況として、「1学年平均20人未満」と回答した割合が37%となっています。なお、「1学年平均20人未満」の学校の場合、「クラス替えができない学年がある学校」にもなるため、「クラス替えができない学年がある学校」と回答した13%の保護者を合わせた50%の保護者が学校統合が避けて通れないと考えていることがわかります。

また、再編計画案について、竟成小学区の79%の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

【香取中学校】再編計画案で示す再編の検討協議を進めていく学校

○生徒数及び学区内の12歳以下の数

	中3	中2	中1	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	27	30	19	31	35	37	23	28	30	17	14	22	21	11	12
男女	7 20	14 16	7 12	15 16	23 12	12 25	14 9	15 13	13 17	11 6	6 8	9 13	11 10	4 7	6 6

○質問⑧ 学校統合が避けて通れない状況（子の年代別）

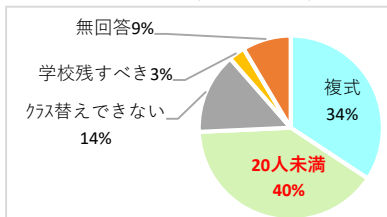
香取中学校の現在想定される生徒数の推移から、学区内に住む保護者がどのように考えるかを集計するため、「保護者の考える学校統合が避けて通れない状況(P7)」を香取中学区の保護者に絞り、お子様の年齢を3歳ごとに区分し集計しました。

なお、「2人以上お子様があり、その子の年齢の区分が異なる保護者」は、それぞれの年齢の区分で集計しています。

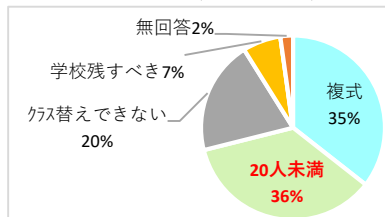
(例1) 1歳・小1の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」、及び「小学1~3年生の保護者」としてそれぞれ1件集計

(例2) 1歳・3歳の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」として1件集計

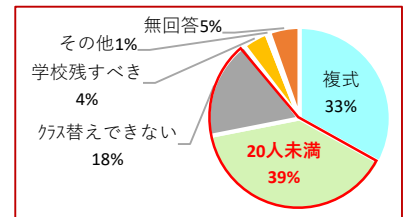
・1~3歳の保護者（香取中学区）



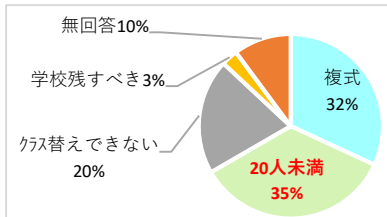
・4~6歳の保護者（香取中学区）



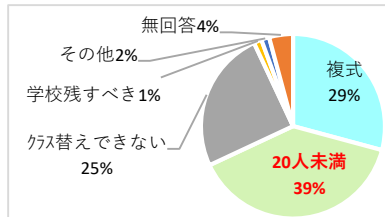
・香取中学区 全体



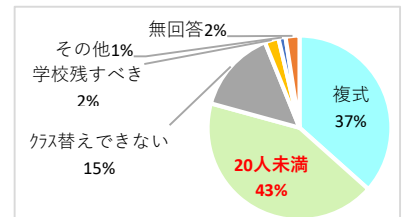
・小学1~3年生の保護者（香取中学区）



・小学4~6年生の保護者（香取中学区）



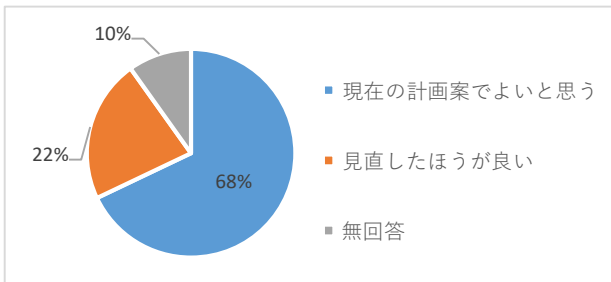
・中学生の保護者（香取中学区）



各年齢区分で最も割合が高い区分を赤字にしています

○質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について (P9)」を香取中学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合の時期を早める	42
再編先について	13
統合はしないほうがよい	9
統合の時期を遅らせる	2

香取中学区の保護者全体が考える統合が避けられない状況として、「1学年平均20人未満」と回答した割合が39%となっています。なお、「1学年平均20人未満」の学校の場合、「クラス替えができない学年がある学校」にもなるため、「クラス替えができない学年がある学校」と回答した18%の保護者を合わせた57%の保護者が「1学年平均20人未満」の学校は統合は避けられないと考えていることがわかります。

また、今後「1学年平均20人未満」となることが、生徒数の推移(1歳から6歳まで)から見込まれるため、学校統合が避けて通れないと考えている保護者が半数以上いることがわかります。

今後の再編計画案について、香取中学区の68%の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

【新島中学校】再編計画案で示す再編の検討協議を進めていく学校

○生徒数及び学区内の12歳以下の数

	中3	中2	中1	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	18	19	15	17	25	12	12	21	22	18	10	11	10	16	7
男女	14 4	10 9	12 3	8 9	13 12	7 5	6 6	13 8	9 13	8 10	5 5	5 6	5 5	4 12	3 4

○質問⑧ 学校統合が避けて通れない状況（子の年代別）

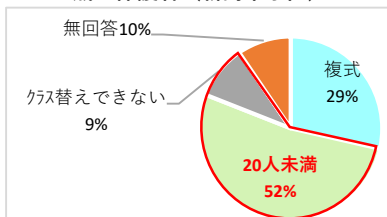
新島中学校の現在想定される生徒数の推移から、学区内に住む保護者がどのように考えるかを集計するため、「保護者の考える学校統合が避けて通れない状況(P7)」を新島中学区の保護者に絞り、お子様の年齢を3歳ごとに区分し集計しました。

なお、「2人以上お子様があり、その子の年齢の区分が異なる保護者」は、それぞれの年齢の区分で集計しています。

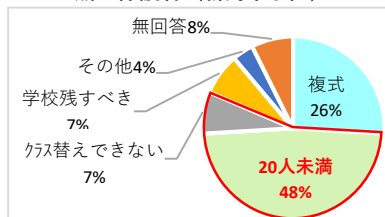
(例1)1歳・小1の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」、及び「小学1~3年生の保護者」としてそれぞれ1件集計

(例2)1歳・3歳の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」として1件集計

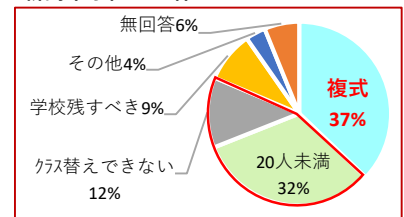
・1~3歳の保護者（新島中学区）



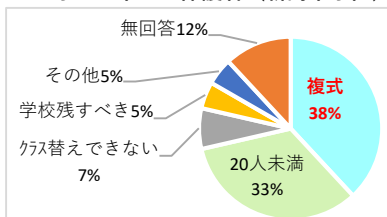
・4~6歳の保護者（新島中学区）



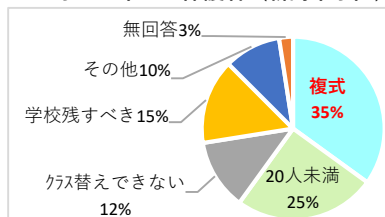
・新島中学区 全体



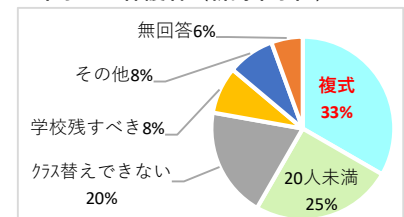
・小学1~3年生の保護者（新島中学区）



・小学4~6年生の保護者（新島中学区）



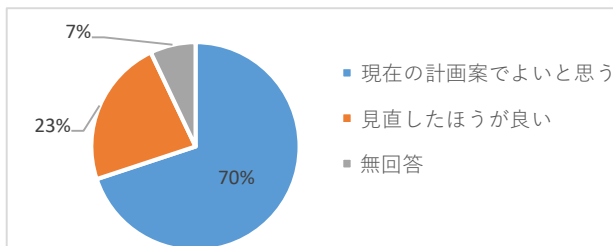
・中学生の保護者（新島中学区）



各年齢区分で最も割合が高い区分を赤字にしています

○質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について（P9）」を新島中学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合の時期を早める	17
再編先について	13
統合はしないほうがよい	8
統合の時期を遅らせる	2

新島中学校は香取市内で唯一「1学年平均20人未満」の中学校となっています。「1学年平均20人未満」の学校は「クラス替えが出来ない学年がある」状態にもなるので、新島中学区の保護者の内「1学年平均20人未満」と回答した32%の保護者、「クラス替えができない学年がある」と回答した12%を合わせた44%の保護者が「1学年平均20人未満」の中学校は統合が避けて通れないと考えていることがわかります。

このため、現在の新島中学校の状況（生徒数）について、学校統合が避けて通れないと考える保護者の数は、半数を超えていないと分析できます。

しかし、『1~3歳の保護者』、『4~6歳の保護者』は、「1学年平均20人未満」の回答の割合が多く、「クラス替えができない学年がある」と回答した割合をあわせるとどちらも半数を超えます。このため、6歳以下の保護者は、現在の学校の状況について統合が避けられないと考えている割合が多いと分析できます。

また、今後の再編計画案について、新島中学区の70%の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

【佐原小学校】（北佐原小・竟成小の統合先の候補に考えられる学校）

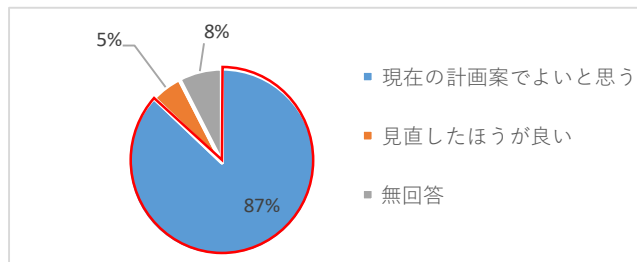
○児童数及び学区内の6歳以下の人数

（現在の小学5・6年生は38人編制、それ以降に入学する児童は35人編成）

	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	105	125	120	110	117	111	90	95	72	86	77	79
男女	57:48	72:53	63:57	68:42	62:55	50:61	53:37	55:40	37:35	49:37	36:41	42:37
学級数	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
1クラス当たりの人数	35	31.3	30	27.5	29.3	27.8	30	31.7	24	28.7	25.7	26.3

○質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について（P9）」を佐原小学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合はしないほうがよい	23
再編先について	13
統合の時期を早める	12
統合の時期を遅らせる	2

再編計画案について、佐原小学区の保護者の87%が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

再編計画案の見直しを求める意見の中には、佐原小学校の周辺道路の狭さや統合によるスクールバスの運行、送迎等による交通量の増加が考えられることから通学の安全性を不安視する意見がありました。

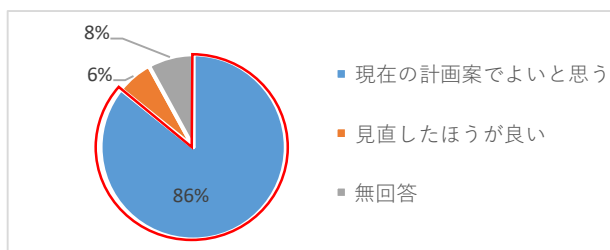
【佐原中学校】（香取中・新島中の統合先の候補に考えられる学校）

○生徒数及び学区内の12歳以下の数

	中3	中2	中1	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	192	173	160	128	146	144	144	136	129	114	117	97	107	91	94
男女	95:97	82:91	75:85	65:63	79:67	80:64	88:56	71:65	58:71	67:47	66:51	52:45	55:52	44:47	44:50
学級数	6	5	5	4	5	5	5	4	4	4	4	3	4	3	3
1クラス当たりの人数	32	34.6	32	32	29.2	28.8	28.8	34	32.3	28.5	29.3	32.3	26.8	30.3	31.3

○質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について（P9）」を佐原小学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合はしないほうがよい	32
再編先について	22
統合の時期を早める	18
統合の時期を遅らせる	2

再編計画案について、佐原中学区の保護者の86%が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、再編計画案に多くの保護者が理解を示していることがわかります。

なお、佐原中学校の学級数は現在全校で16学級となっていますが、生徒数の推移から今後6年間で3学級（1学年1学級）減少することが見込まれます。また、他の学校の生徒数の推移から、学校統合を実施した場合においても、現在の学級数は超えないと考えられます。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

【香取小学校】現在、複式学級の対象となる学年がある学校

○児童数及び学区内の6歳以下の人数

（赤丸については複式学級の対象となることが見込まれる学年・年齢）

	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	8	12	12	8	6	13	10	4	5	14	4	8
男女	5 3	8 4	3 9	6 2	2 4	7 6	5 5	2 2	2 3	7 7	2 2	4 4

○質問⑧ 学校統合が避けて通れない状況（子の年代別）

香取小学校の現在想定される児童数の推移から、学区内に住む保護者がどのように考えるかを集計するため、「保護者の考える学校統合が避けて通れない状況(P7)」を香取小学区の保護者に絞り、お子様の年齢を3歳ごとに区分し集計しました。

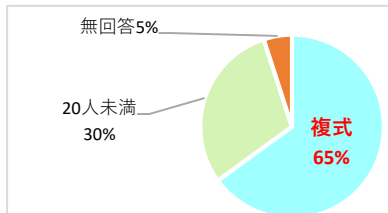
なお、「2人以上お子様がおり、その子の年齢の区分が異なる保護者」は、それぞれの年齢の区分で集計しています。

(例1)1歳・小1の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」、及び「小学1~3年生の保護者」としてそれぞれ1件集計

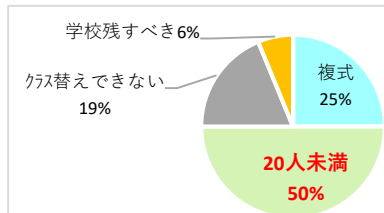
(例2)1歳・3歳の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」として1件集計

また、全体の集計には、学区内に住む中学生の保護者も含むため、各年齢区分別の内訳より割合が高い項目があります。

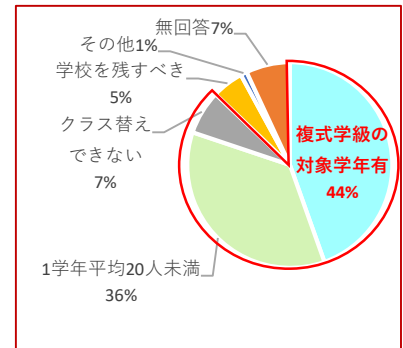
・1~3歳の保護者（香取小学区）



・4~6歳の保護者（香取小学区）

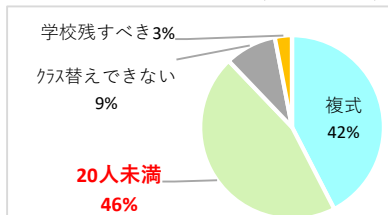


・香取小学区 全体(中学生の保護者含む)

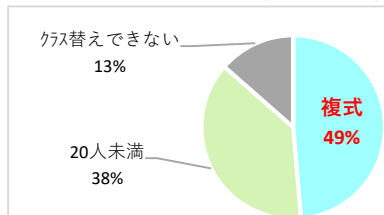


各年齢区分で最も割合が高い区分を赤字にしています

・小学1~3年生の保護者（香取小学区）

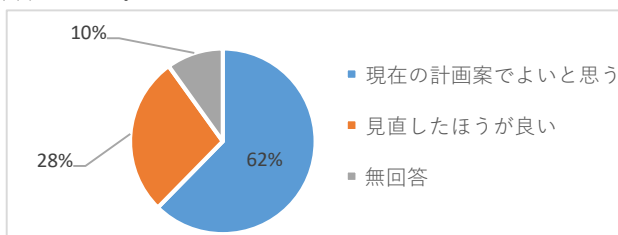


・小学4~6年生の保護者（香取小学区）



○質問⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について (P9)」を香取小学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合の時期を早める	28
再編先について	6
統合はしないほうがよい	3
統合の時期を遅らせる	0

香取小学区の保護者全体が考える統合が避けられない状況として、「複式学級の対象となる学年がある」と回答した割合が44%となっています。複式学級となる場合、「1学年20人以下」にも「クラス替えができない学年がある」状態にも該当するため、「複式学級の対象となる学年がある」と回答した44%、「1学年平均20人未満」と回答した36%、「クラス替えができない」と回答した7%をあわせると87%の保護者が「複式学級の対象となる学年がある」学校は統合が避けられないと考えていることがわかります。

現在、香取小学校は「複式学級の対象となる学年がある」状態となっているため、現在の学校の状況では、学校統合が避けて通れないと考える保護者が多いと分析できます。

今後の再編計画案について、香取小学区の62%の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、また、再編計画案の見直しを求める意見では、「統合の時期を早める」と回答された方も多く見受けられました。

令和元年から令和三年にかけて検討・協議が行われた結果「統合は見送ること」となりましたが、再度学校再編について検討を行う必要があると考えられます。

【5.アンケート集計結果（再編計画案で示す学校等の状況）】

【小見川東小学校】 現在、0人の学年がある学校

○児童数及び学区内の6歳以下の人数 （赤丸については複式学級の対象となるが見込まれる学年・年齢）

	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
人数	17	17	0	11	12	0	12	13	7	10	4	10
男女	9 8	9 8	0 0	5 6	5 7	0 0	9 3	4 9	3 4	4 6	3 1	7 3

○質問⑧ 学校統合が避けて通れない状況（子の年代別）

小見川東小学校の現在想定される児童数の推移から、学区内に住む保護者がどのように考えるかを集計するため、「保護者の考える学校統合が避けて通れない状況(P7)」を小見川東小学区の保護者に絞り、お子様の年齢を3歳ごとに区分し集計しました。

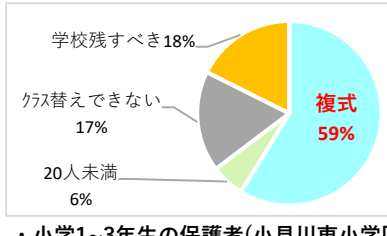
なお、「2人以上お子様があり、その子の年齢の区分が異なる保護者」は、それぞれの年齢の区分で集計しています。

(例1) 1歳・小1の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」、及び「小学1~3年生の保護者」としてそれぞれ1件集計

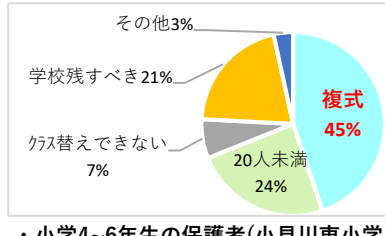
(例2) 1歳・3歳の2人の子の保護者：「1~3歳の保護者」として1件集計

また、全体の集計には、学区内に住む中学生の保護者も含むため、各年齢区分別の内訳より割合が高い項目があります。

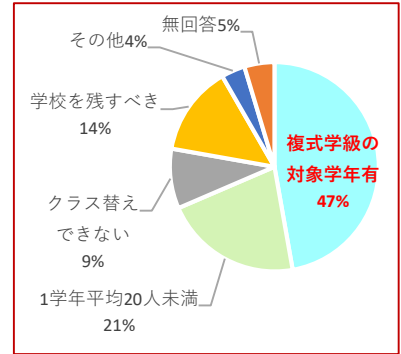
・1~3歳の保護者(小見川東小学区)



・4~6歳の保護者(小見川東小学区)

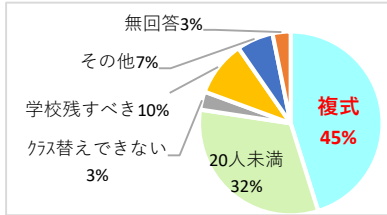


・小見川東小学区 全体(中学生の保護者含む)

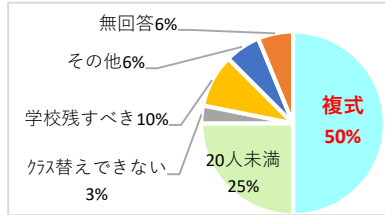


各年齢区分で最も割合が高い区分を赤字にしています

・小学1~3年生の保護者(小見川東小学区)

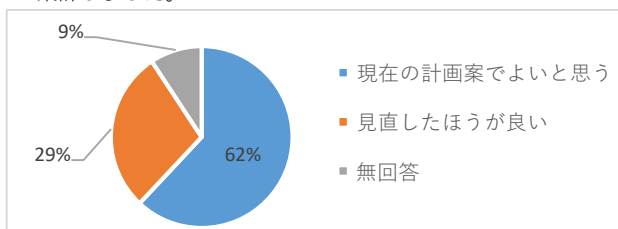


・小学4~6年生の保護者(小見川東小学区)



○質問⑩ 今後の再編計画案についてどのように思われますか

「今後の再編計画案について (P9)」を小見川東小学区に住む保護者に絞って集計しました。



・再編計画案の見直しを求める意見の傾向

計画の見直しを求める意見の傾向	回答数
統合の時期を早める	16
再編先について	14
統合はしないほうがよい	10
統合の時期を遅らせる	0

小見川東小学区の保護者全体が考える統合が避けられない状況として、「複式学級の対象となる学年がある」と回答した割合が47%になっています。また、児童数の推移(現在の1歳と2歳又は2歳と3歳)から複式学級が見込まれるため、このまま児童数が推移する場合、多くの保護者が学校統合は避けられないと考えていることがわかります。

今後の再編計画案について、小見川東小学区の62%の保護者が「現在の計画案でよいと思う」と回答しており、また、再編計画案の見直しを求める意見の中では、「統合の時期を早める」と回答された方も見受けられました。

令和4年に検討・協議が行われた結果、「統合は見送ること」となりましたが、今後、学校再編について再度検討を行う必要があると考えられます。

【6.アンケート全体に関する分析】

今回のアンケートの回答生体数は3,201世帯となり、回答率が約76%に達したことから、多くの保護者が学校の適正配置に対し関心が高いことがわかります。

アンケートの回答全体を分析を行った結果は、下記のとおりです。

【 教育環境 】

(i)教育環境を考える際、「子供の交友関係」や「個性に応じた指導」「多様な学習形態」を重視する割合が多いこと。

また、小学校・中学校で比較すると小学校では「一人一人活躍の場が多い」や「個性に応じた指導」、中学校では「部活動等の種類が充実」の割合が高いこと。(P5参照)

(ii)小学校について「保護者が考える教育環境を維持していくために必要な規模」は、「1学年2学級から3学級」の割合が高くなっていること。ただし、学校統合が避けられない状況として、「複式学級の対象となる学年があるとき」と考える保護者が多いこと。(P6~P7参照)

(iii)中学校について「保護者が考える教育環境を維持していくために必要な規模」は、「1学年2学級から5学級」の割合が高くなっており、統合が避けられない状況は「クラス替えができない学年があるとき」と考える保護者が多いこと。(P6~P7参照)

【 学校再編 】

(iv)現在の再編計画案に対して、全体の8割以上の保護者が理解を示していること。(P9参照)

(v)「再編計画案で示す学校等」について

○香取小・竟成小の現在の規模は、その学区に住む半数以上の保護者が、統合は避けて通れないと考える状況になっており、学校再編について検討協議が必要と考えられる。

○北佐原小・小見川東小・香取中は、児童生徒数の推移から、その学区に住む保護者が統合が避けて通れないと考える状況となる見込みであり、今後、検討協議が必要と考えられる。

○新島中は、その学区に住む保護者が統合が避けて通れないと考える「複式学級」は見込まれていないが、6歳以下の子の保護者は「1学年平均20人未満」の学校は統合が避けられないと回答している割合が多いため、今後、検討協議が必要と考えられる。(P12~P15、P17~P18参照)

≪統合先の学校の意見≫

再編計画案で示す4校の統合先の候補となっている学校(佐原小学校・佐原中学校)についても、再編計画案について8割以上の保護者が理解を示していること。また、佐原小学校では、学校統合による周辺道路の交通状況が変わることで通学の安全性を不安視する意見がありました。(P16参照)

【 まとめ 】

今回のアンケートの結果、多くの保護者が、小学校の複式学級の解消、中学校の小規模化(1学年平均20人未満)の解消を求めていること、また、再編計画案に対して理解をいただいていることがわかりました。しかし、保護者の間にも様々な考え方があることから、保護者意見交換会を開催するなど、今後も市民協働で学校再編に取り組んでまいります。

アンケートへの御協力、ありがとうございました。



学校等適正配置に関するアンケート

【注意】回答前のご確認ください

○1つの世帯で1つの回答となります。

兄弟姉妹がいる場合、複数枚アンケート用紙が配布される可能性があります。アンケート用紙が複数枚お手元にある場合には、お子様全体的ことを考慮し1枚でご回答ください。回答に使用しないアンケート用紙は、下の「□他の兄弟姉妹の用紙で回答済み」に印をつけ、学校等に提出をお願いします。

○ホームページで回答する場合、紙での回答は不要です。

学校等を通じてアンケートが配布された方は「□ホームページから回答済み」に印をつけ、提出をお願いします。アンケートが郵送された方がホームページから回答する場合は、提出は不要です。

他の兄弟姉妹の用紙で回答済み ホームページから回答済み

① 同一世帯の中学生以下のお子様、全ての年齢・学年に○を記入してください。

- ※年号について令和を「R」、平成を「H」で表記しています
- 就学前
 - 1歳(R4.4.2~R5.4.1生) 2歳(R3.4.2~R4.4.1生) 3歳(R2.4.2~R3.4.1生)
 - 4歳(H31.4.2~R2.4.1生) 5歳(H30.4.2~H31.4.1生) 6歳(H29.4.2~H30.4.1生)
 - 小学生
 - 1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生
 - 中学生
 - 1年生 2年生 3年生

② お住いの地区(学区)に○を記入してください。

- 1. 佐原小学区 2. 北佐原小学区(佐原中学区) 3. 北佐原小学区(新島中学区) 4. 東大戸小学区
- 5. 寛成小学区(佐原中学区) 6. 寛成小学区(佐原第五中学区) 7. わらびが丘小学区 8. 香取小学区
- 9. 瑞穂小学区 10. 新島小学区 11. 水の郷小学区 12. 小見川中央小学区 13. 小見川東小学区
- 14. 小見川西小学区 15. 小見川北小学区 16. 山田小学区 17. 栗原小学区 18. 香取市外

③ お住いの地区以外の学校に通学しているお子様(指定校変更)がいる方は、通学先を記入してください。

[小学校] [中学校]

④ (小学生のお子様がいる方) お子様の通学方法・通学時間について記入してください。

- 通学方法: 徒歩 自転車 スクールバス 家族の車による送迎
- 通学時間: 10分以内 20分以内 30分以内 40分以内 50分以内 60分以内 60分以上

⑤ (中学生のお子様がいる方) お子様の通学方法・通学時間について記入してください。

- 通学方法: 徒歩 自転車 スクールバス 家族の車による送迎
- 通学時間: 10分以内 20分以内 30分以内 40分以内 50分以内 60分以内 60分以上

⑥ 教育環境を考えると、何を重視しますか。(小学校・中学校それぞれ3つまで選択可)

教育環境において重視すること	小学校	中学校
クラス替えができる学校規模であること		
授業中や各種行事等において、一人ひとりの活躍の場が多いこと		
部活動等の種類が充実しており、選択の幅があること		
教員による一人ひとりの個性に合わせた指導が受けられること		
習熟度別学習や少人数指導、グループ学習等、多様な学習形態がとれること		
家から学校が近いこと(通学時間が短いこと)		
子ども同士の交友関係		
学校の建物や施設等の環境(施設の新しさ・運動場の広さ等)		
特色ある教育活動が展開されていること		
保護者や地域住民と連携した活動が行われていること		
PTA活動等における役割分担など、保護者の負担が分散しやすいこと		
その他 ()		

裏面に続く

⑦ 教育環境を維持していくためには一定規模(児童生徒数)が必要と教育委員会では考えています。どの程度の規模が必要と考えますか? 小学校・中学校についてそれぞれ○を記入してください。

【1クラス当たりの人数】

- 小学校: 1. 1~10人 2. 11~20人 3. 21~30人 4. 31~38人
- 中学校: 1. 1~10人 2. 11~20人 3. 21~30人 4. 31~38人

【1学年当たりの学級数(クラス数)】

- 小学校
- 1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級 4. 4学級
 - 5. 5学級以上 6. 複式学級が存在しても良い
- 中学校
- 1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級 4. 4学級 5. 5学級
 - 6. 6学級 7. 7学級以上 8. 複式学級が存在しても良い

⑧ 学校統合が避けられないと考えるのは、どのような状況ですか。

小学校・中学校についてそれぞれ○を記入してください。

1. 複式学級の対象となる学年がある
2. 1学年平均20人未満(全児童数が120人未満)
3. クラス替えができない学年がある(1学年1学級の学年がある)
4. 児童がいなくなるまで学校を廃すべき
5. その他 ()
1. 複式学級の対象となる学年がある
2. 1学年平均20人未満(全生徒数が60人未満)
3. クラス替えができない学年がある(1学年1学級の学年がある)
4. 生徒がいなくなるまで学校を廃すべき
5. その他 ()

⑨ 小生について、どの程度の時間までが通学可能な範囲と考えますか。徒歩・スクールバスについてそれぞれ○を記入してください。

- 徒 歩: 10分以内 20分以内 30分以内 40分以内 50分以内
- スクー-ルバス: 10分以内 20分以内 30分以内 40分以内 50分以内

⑩ 中学生について、どの程度の時間までが通学可能な範囲と考えますか。自転車・スクールバスについてそれぞれ○を記入してください。

- 自 転 車: 10分以内 20分以内 30分以内 40分以内 50分以内
- スクー-ルバス: 10分以内 20分以内 30分以内 40分以内 50分以内

⑪ 今後の再編計画案についてどのように思われますか。

- 1. 現在の計画案でよいと思う
- 2. 見直したほうが良い(具体的な内容を下枠にご記入ください)

(参考資料9ページ) 9. 再編計画案

その他、学校等適正配置に関するご意見等がありましたら、ご記入ください。

【自由意見】

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。